

# 競技注意事項

## 1 本大会は2023年度(一財)愛知陸上競技協会「小学生友の会ルール」で行う。

## 2 アスリートビブス(ナンバーカード)について

- (1) プログラム記載のものをユニホームの胸、背に確実につける。
- (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を必ず競技者係から受け取る。ランニングパンツの右横や後方に、明確に数字が読めるようにつける。リレーは、第4走者(アンカー)がつける。フィニッシュ後、直ちに回収係に返却する。

## 3 レーン・試技順について

- (1) トラック競技のレーン、フィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- (2) 欠場者のレーンはあける。

## 4 招集について

- (1) 招集所は、競技場内100mスタート側後方に設ける。
- (2) 招集の受付は本人(代理人は認めない)が行い、時間に遅れた者は出場を認めない。招集指導は引率者の引率で行う。リレーは4人が揃って招集を受ける。
- (3) 最初に出場する種目時刻に出場する全種目の招集を行う。
- (4) リレーオーダー用紙は、6年混合リレーは8時15分までに団体受付へ提出する。5年及び4年混合リレーは招集完了時間1時間前までに招集所へ提出する。オーダー用紙は、朝の団体受付時に受け取る。(招集所にも準備)
- (5) 選手の誘導は各団体の引率者が行う。

## 5 ウォーミングアップについて

- (1) できる限り集団でのアップはせず、密にならない様に行う。事故等の起こらない様に引率者が付き添って行う。公園内は芝生公園を利用する。園路は使用しない。
- (2) 競技場内はバックストレートのみとし、Jogや体操等は行わない。ハードル練習は準備されたものを役員の指示により行う。ハードル練習には必ず引率者が付き添い行う。
- (3) 競技場外は、公園利用者の迷惑とならない様に注意して行う。

## 6 競技について(友の会ルール)

- (1) スターターの合図は英語「On your marks」「Set」で行い、不正スタートは、一人が2回で失格とする。スタートの方法は、クラウチングスタートとする。3年生以下50mは、スターティングブロックは使用しない。スタンディングスタートとする。
- (2) 混合リレーのオーダーは、男女各2名で編成し、走順は自由とする。

### (3) 80mハードルの規格

	台数	高さ	スタート～第1ハードル	ハードル間	最終ハードル～フィニッシュ
5・6年生	9台	0.70m	13m	7m	11m
4年生	9台	0.60m	13m	7m	11m

- (4) フィールド種目の競技開始前の練習は、審判員の指示によって行う。
- (5) ジャベリックボール投げは、規定の投げ方(にぎり持ち)で、助走距離は15m以内、試技は1人2回とし、すべて計測する。

- (6) 走幅跳の試技は1人2回とし、すべて計測する。
- (7) 走高跳の跳び方は「はさみ跳び」とし、脚が最初にバーを越え、マットへの着地は足裏からとする。(足裏以外の着地は認めない) 2回連続失敗した時点で終了とする。バーの上げ方は、下記のとおりとする。

学年	練習	1	2	3	4	5	
4年生	80cm	85cm	90cm	95cm	1m00	1m05	以後5cm
5年生	95cm	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	以後5cm
6年生	1m00	1m05	1m10	1m15	1m20	1m25	以後5cm

- (8) 本大会において、“日清食品カップ”愛知県小学生陸上競技交流大会(6月24日)の参加資格記録を突破した者は、大会への参加資格を得られる。参加を希望する場合は、愛知陸協ホームページを参照し、参加申し込みをすること。

## 7 競技用器具について

- (1) 競技に使用する器具(スターティングブロック・バトン・ハードル)は、主催者が用意したものを使用する。
- (2) ジャベボール(ニシスポーツ NT5201)は出場者一人につき1個持参し使用する。他競技者とは共用しない。
- (3) リレーと走幅跳の助走に使用するマークは主催者が用意する。走高跳・ジャベリックボール投げの助走に使用するマークは2個までとし、選手が持参する。

## 8 団体受付について

- (1) 団体受付は、正面玄関ロビーに設ける。但し、ロビーは一般利用者が利用するため、引率者及び落とし物の問い合わせ以外は入らないこと。  
各団体の集合場所等はしっかり団体で連絡しておくこと。
- (2) 大会中の落とし物は団体受付で対応する。

## 9 競技場内及びスタンド入退場・待機について

- (1) 選手、引率者(大人の方で指定された人数)、選手の家族がスタンド(バックスタンド含む)に入場出来る。但し、家族はスタンドのみとする。
- (2) スタンド出入口は、正面玄関よりややゴール側スタンド入口に設ける。  
選手…アスリートビブスで確認を行う。(再入場にも同じ)  
引率者…団体受付にて引率者受付し、リストバンドを付ける。  
家族…団体へ配布した「家族証」を提示する。学年別の入場となる。
- (3) 再入場には、選手はアスリートビブス、引率者はリストバンド、家族は家族証を提示する。引率者の交代は団体受付役員へ申し出て行う。家族は学年入場時刻以外の再入場はできない。
- (4) スタンドについては密を避けて座り、応援は禁止する。
- (5) スタンドでの食事は禁止する。(お菓子も不可)
- (6) 選手及び家族は、学年の競技が終了したら速やかに帰宅すること。

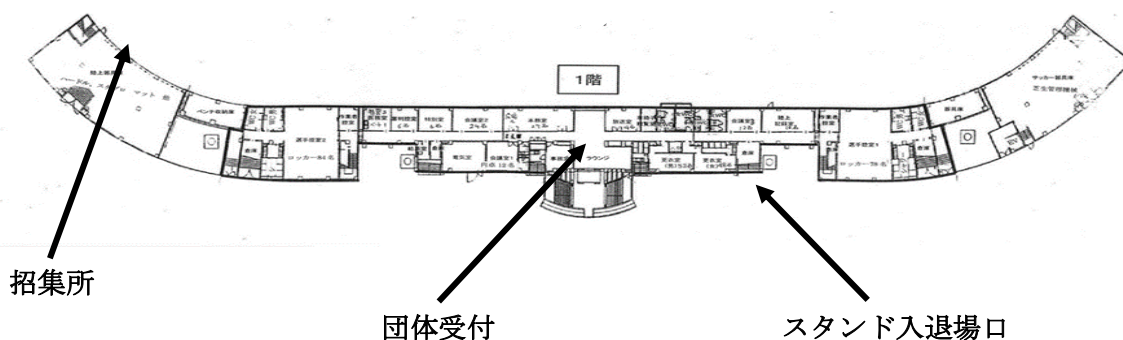
## 10 その他

- (1) トラック競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分のレーン(曲走路)を走り、減速し止まる。
- (2) リレーの第1・第2・第3の各走者は、バトンを渡した後も他のレーン(チーム)の走者が、全員通過し競技役員の指示があるまで自分のレーンにとどまること。他のチームの妨害にならないよう注意する。

- (3) プログラムの氏名・所属等の間違いがあれば、チームの責任者が団体受付時に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、医務室において処置を受ける。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品類は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。盗難に注意すること。

## 1.1 感染症対策

- (1) 日本陸上競技連盟の示した、感染リスクを軽減させた競技会の運営方針に従い運営します。手洗いや消毒、選手の動線など主催者の指示に従い、競技会に参加すること。
- (2) 競技場への来場は原則、保護者の送迎とする。また、競技終了後速やかに帰宅すること。
- (3) 競技場へは2時間以上前に来場しないこと。競技に出場しない者は会場に来場しないこと。
- (4) スタンド入場時刻は、タイムテーブルに記載する。
- (5) 各団体の待機場所も含め、三密を避けるように工夫をすること。また、子供達がスタンドで走り回ったり、遊んで騒ぐことのない様に指導する。
- (6) ゴミは必ず持ち帰ること。競技場に設置してあるゴミ箱は封鎖する。
- (7) 各団体は、適宜選手の消毒や手洗い指導し、感染予防に努めること。
- (9) 主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負わない。



※選手と引率者は、招集所、団体受付、競技場所等への移動は、スタンドを移動する。  
(競技場内中通路は移動しない)

※競技場外でのチーム場所取りは禁止、テント・シート・椅子等を置いての場所取りはしないこと